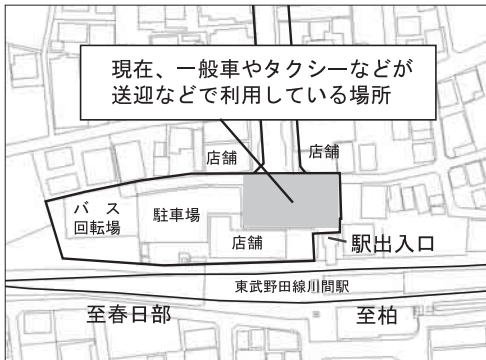


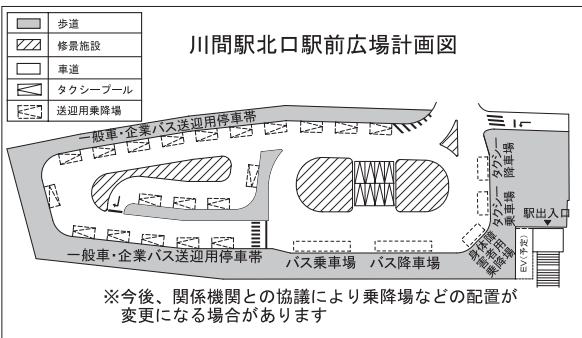
川間駅北口駅前広場の整備…	1～2面
市民課と収税課の日曜日窓口のご利用を…	3面
所得税と市・県民税の申告受付…	4面
15万人のひろば…	8～9面
おしらせ・3月の相談日…	12～13面
3月の休日当番医…	16面

### ■現状の川間駅北口の利用状況



市では、合併後、市民の皆さんの意見を伺いながら策定した、「総合計画（新市建設計画）」に基づき、住みよいまちづくりを

### ■川間駅北口駅前広場の整備計画図



※今後、関係機関との協議により乗降場などの配置が変更になる場合があります

目指して、東武野田線の七光台、清水公園、梅郷の3駅の東西連絡

平成25年度の開設をめざして

## 川間駅北口駅前広場を拡大し

## 路線バスや障害者用の乗降場などを整備

～今月末からは駅のバリアフリー工事も～

市では、東武野田線の七光台、清水公園、梅郷の3駅の東西連絡自由通路や東口の開設など、駅周辺の整備を「総合計画（新市建設計画）」に沿って取り組む中で、市内6駅のうち乗降客数の最も多い川間駅北口の駅前広場の整備も、説明会などを行いながら検討してきた結果、今後は、平成25年度の開設を目指し整備を進めます。さらに同駅のバリアフリー工事も今月末から始まる予定です。

自由通路の整備や東口の開設など、駅周辺の整備に積極的に取り組んできました。

### 計画には皆さんのご意見も

また、川間駅は、市内6つの駅の中で最も乗降客数が多く、野田地域北部と閑宿地域のほとんどの方が最寄駅として利用していますが、北口は、利用者が多く、特に通勤や通学、帰宅時間帯には車や自転車、歩行者などが入り混じり、交通の安全性が確保できていない状況です。そこで、市では、川間駅の北口駅前広場の整備を「総合計画（新市建設計画）」の重点事業のひとつとして位置付け、検討をしてきました。

しかし、昭和56（1981）年に決定した駅前広場の整備計画区域では、道路基準の変更や、交通量の変化などにより、送迎

車の待機場所や歩道の広さなどが不十分でした。

そこで、市では、区域の変更の検討を進め、皆さんからのご意見も反映させようと、地権者や地元の自治会や商店会、一般市民などを対象にした説明会を実施しつつ、交通量の調査や関係機関との協議などを行ってきました。

その結果、2月16日、区域を1・5倍に拡大することとした「都市計画道路尾崎中里線（川間駅北口駅前広場）」の都市計画変更を行いました。

### 来年度から事業がスタート

川間駅北口駅前広場の整備面積は約4千500平方メートルで、

（2面へつづく）

